

2015年2月に女房を交通事故で亡くしました。

その日私は県外での仕事を終えて、前橋に戻ってくるところでした。 帰りの道中、知らない番号から電話が来ました。病院からでした。 「奥様が事故に遭った、ドクターへリで病院に運ばれた」と。 ドクターヘリと聞いて大きな事故だったのだと察しました。

その後何度か連絡が来ましたが、

内臓破裂で輸血をしてもどうにもならない状態だったそうです。 これ以上の延命処置はできないという話に、分かりましたと答えました。 病院に着いた時には、女房はもう亡くなっていました。

家からたった150 mほどの安中線の交差点で、

青信号の横断歩道を渡っている時に、右折してきた車に女房ははねられました。

午後2時過ぎの明るい時間帯の事故でした。

歩いているのが見えなかったと加害者は言っていましたが、

きっと前方から来る車に気を取られて、急いで曲がったのだと思います。

もう少し気をつけてくれていればこんなことにはならなかったと、何度もそう思いました。

その日女房は、普段県外で働く私が帰ってくるということで 近くの畑に野菜を採りに行ってくれていたのだそうです。

根っからのまじめで、優しい人でした。

毎年四季が変わるごとに行っていた旅行は、もう一緒に行けません。

女房が亡くなってそんな日常が変わってしまい、今では寂しい生活を送っています。

突然女房を失い、最初は何が何だかよく分からなかった。

今でも忘れることはできません。

まさか自分の家族が事故に巻き込まれるなんて思っていませんでした。

でもこうして突然、交通事故は起きてしまうのです。

どうか皆さん、自分勝手な運転はやめて、思いやりある運転をしてほしい。

前橋で二度と、こんな悲しい事故が起きないことを心から願います。

歩行者の皆さん ● 歩きスマホなどで下ばかり見て● 道路を急に飛び出していません

いか

ませ

 $\lambda$ 

自転車に乗る皆さん 道路の右側を走行していませんか一時停止などの標識を無視してい ませ

ん

の思いやりが欠かせません。 の意識的な要因が大きいのは紛れもない事実。 する限り、 る限り、事故のリスクは避けられません。事故の原因はさまざまですが、事故が起こらないような環境を目指す前橋市。しかし、私たちの手で車を 事故を防ぐには、 ぐには、私たち一人一人はさまざまですが、人間、私たちの手で車を運転

あなたが、あなたの大切な家族や友人が、交通事故に遭ったらどう思うでしょうか。 「運転手が気をつけてさえいれば」「スピードがあともう少し、遅ければ」 「あの時ちゃんと周りを確認していれば」…

卑に乗る皆さん

少しくらい、

とスピ

ドを出し過ぎていませ

h

歩行者優先を忘れてい

ません

自分自身が巻き込まれても、周りの人が巻き込まれても、きっとこう思うに違いありません。 あなた自身が事故に巻き込まれないように、事故を起こさないように。

交通事故を減らすための主役は、「あなた」です。

